



懸虹

特集

コロナウイルス感染症 5類感染症移行に伴う 「必要な感染対策」

- トピックス
- こども事業部ニュース
- 在宅事業部ニュース
- 連携医紹介
- 大町新複合施設進捗状況



瓜坪池 (F10、2002)

星 一雄

先日、105歳の祖母を自宅で見取った。半年前まで日常生活が自立していた元気な高齢者だったので、最期まで自宅で看るといふ意思決定ができ、訪問診療やヘルパーの力を借りて、家族全員協力しながらの介護であった。介護しながら、祖母が生まれた105年前(大正7年)は何があったのか気になり調べてみた。スペイン風邪の流行や第1次世界大戦終結とあり、当時の感染対策啓発ポスターに「汽車、電車、人の中ではマスクせよ、外出の後はウガヒ忘るな」とあった。100年の間に医療、経済、教育、科学技術等が進歩しても、今も昔も基本的な感染対策、私たちの取るべき行動は何も変わっていないかった。生を享けたとき、そして人生最期のとき、同じように感染症のパンデミックを経験している祖母の105年が、どのような物語があったのだろうか、とても興味深く、尊いものであると感じられる。今後は医療技術の進歩により100歳を超える人は珍しくなくなると思うが、入院してくる患者さんは病気や入院をきっかけに生活の立て直しが必要であり、また様々な理由による退院困難な事例も多い。今後を見据え、ページェントフローマネジメント(PFM)機能を推進し「生きる力を引き出す」高齢になっても自立した生活の支援や、患者さんがスムーズに生活の場に戻るよう支援したいと考えている。

法人医療支援部

部長補佐 別府 禎子

<醫靈> 靈をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念



コロナウイルス感染症

5類感染症移行に伴う

「必要な感染対策」



感染対策室長
高度専門教育センター長
加藤 一夫

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。今後の法人の感染対策について、加藤感染対策室長にお話を伺いました。

感染対策の必要性

コロナウイルス感染症の防御方法は、体に入るウイルスの数をできる限り少なくすることが基本であり、インフルエンザと異なり予防投薬では防げません。つまり、屋内ではマスクを着けることが基本になります。

しかし現在は、「マスク着用」は個人判断でOKとなり、また「行動制限のない社会生活が送れますよ」とばかりに今般コロナ感染症の5類移行が発せられ、政府やマスコミがこのように盛んに言い募っております。いかにもコロナは終息して、感染対策は必要ありませんとも取れる雰囲気国内に漂い始めました。本当にそれで良いのでしょうか。また私共医療機関ではどうなのでしょう？

確かに法律上は変わりましたが、初期のウイルスに比較すると病原性が下がってはいますが、感染のし易さが増して、病原体が新型コロナウイルスであることには変わりありません。日本においては、既感染者が約4割ですので、未感染者の方が多ということになります。確かにワクチン既接種者はかなり高い割合ではありますが、感染を防御するにはいまだ不十分であることはこれまでに経験した通りです。

これらを踏まえると、私たちは防御姿勢を緩めることはできないという結論になります。

感染対策の取り組み

さて、当病院はどのような防御態勢だったのかについて少しお話させていただきます。まず、外来者が入る出入口を制限し、そこでの体温チェックを行うこと、有熱者は発熱外来での対応とすること、全ての方に院内でのマスクの着用をお願いをしました。当初は多少のご不満を頂きましたが、幸い概ね当方の希望を叶えて頂きました。その甲斐もあって、院内感染も最小限に抑えることができました。次に院内での感染対策の強化ですが、面会制限は導入しましたが、それ以外は終始それまでと変わらぬ対応でした。即ち病院内へのウイルス持ち込みを最小限に抑える作戦でした。しかし、病院職員も社会生活・家庭生活を営んでおりますので、そこでの感染まではコントロールし難く、相次ぐ感染の津波襲来で、職員の感染病休により病院機能の通常維持が困難となった事態に何度か見舞われました。これが、政府が「5類だ」と宣言すると無くなるとは考えにくいのです。私共は一部の制限を除き、現在の流行状況下では感染対策を緩めることができないのです。

合同カンファランスによる地域連携

当病院では、自施設の感染対策のみを行っているわけではございません。これまでは、近隣の病院とタッグを組んで、「合同カンファランス」などを通して地域の感染対策にも取り組んで参りました。そして昨年度からは、連携する医療機関を拡大して、多くのクリニックが参加して情報交換を行うようになりました。



新興感染症発生時の当院の対応について、スライドを用いての情報共有。たくさんの質問が寄せられました。



器械を用いてN95マスクフィットテスト

合同 カンファレンスの 様子



個人防護具着脱実技訓練

まとめ

こうした活動を通して、当病院での感染対策の向上・強化を図り地域の方々が質の高い医療を受ける環境整備にも貢献してまいりたいと考えておりますので、皆様方の今後更なるご指導とご協力をお願い申し上げます。

**東北初！
民間病院発！**

感染管理認定看護師の教育を 星総合病院が行います！

昨年度、福島県が「感染管理認定看護師*」の資格が取得できる教育課程の開講を掲げ、運営事業者として、公益財団法人星総合病院 高度専門教育センターが福島県及び日本看護協会の認定を受けました。受講生は県内15名、県外2名の計17名(応募者36名、倍率2.12倍)です。9月に開講式を迎え、約1年間、感染に係る講義、演習、実習を受講します。学習の主な会場は、ポラリス保健看護学院ですが、実習場は県内の感染管理認定看護師が活躍している病院で実習することになります。第1期生修了予定の令和6年秋、感染に強い福島県に一步近づきます。

*感染管理認定看護師とは、個人、家族及び集団に対して、医療関連感染予防のための高度な管理能力及び高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践します。



ポラリス保健看護学院



受講試験の様子



朝日新聞
出版

「手術数でわかるいい病院 2023」に
星総合病院が掲載されました！

※小児の人工内耳
と補聴器の調整を
しているため

人工関節
置換術
股関節
東北3位

全国
33位

脳血管疾患
治療
東北9位

乳がん手術
東北2位

心臓手術
東北10位

難聴・耳鳴り
(補聴器適合検査数)

東北5位



医療機器

IMPELLA（補助循環用ポンプカテーテル）導入

インペラ（IMPELLA）とは、薬物でコントロール出来ない重症心不全や、急性心筋梗塞や急性心筋炎が原因で心原性ショック（心臓の働きが低下し、全身に血液を十分に送ることができない状態）に陥った際に、心臓の代わりとなって全身に血液を送るための新しい補助循環装置です。2022年9月から当院に導入され治療ができるようになりました。

●IMPELLA駆動装置・ポンプカテーテル



●インペラの仕組み

経皮的にポンプカテーテルの先端を左室内に挿入し（図1）、ポンプ内のインペラ（羽根車）（図2）を高速回転させることでカテーテル先端の吸入部から血液を吸引して、上行大動脈に位置した吐出部から血液を送り出すことにより循環を補助します。

効果としては、

- ①全身への血流量増加、血圧の上昇
 - ②冠動脈への血流量増加
 - ③心筋仕事量の減少
- などが挙げられます。

またインペラを使用することで、従来治療の難しかった心臓機能が低下した重症冠動脈病変に対するカテーテル治療や、急性心筋梗塞後の心臓機能のサポート、コントロール不良な心不全状態の患者様への導入、外科手術前後の心臓機能へのサポートなど、特に心機能が低下した

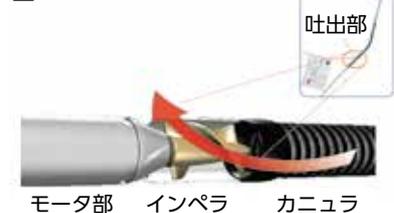
患者様に対する治療の可能性が広がります。

治療後は、トレーニングを受けた医師やメディカルスタッフからなるハートチーム（循環器内科医師、心臓血管外科医師、麻酔科医師、看護師、臨床工学技士、放射線技師など）で協力しながら、集中治療室（ICU）で厳重に管理する体制をとっています。

図1



図2



見事！ 令和4年度看護師・保健師国家試験合格100%！



★ 全員合格の裏にはどのような教育が行われているのか…ご紹介します。★

シミュレーション教育

実際の看護場面を想定したシミュレーション学習を行っています。目の前にいる、生命の危機的状況にある方に今必要な看護は何か、知識・技術・態度を統合して自ら考え実践することができる看護職者の育成を目指しています。



地域とつながりをもった授業

私たちの学院は地域の人々から学ぶことを、とても大切にしています。1年次の実習では、地域の様々な人々と交流し「暮らしとは何か」について学びました。日々の講義でも、地域の方の健康に関する互助活動についてお聞きしたり、看護技術演習の模擬患者さんになって頂くこともあります。



体育祭

4月28日に体育祭を開催し他学年交流を図りました。学院では多くの行事を通し学生の主体性や協調性を育てています。9月には学院祭である北極祭を開催します。今年度は「紡ぐ」をテーマに、人と人、そして地域とのつながりを再構築したいと考えています。



離島研修

4年生は3月30日～4月3日の4泊5日、小豆島での研修を行いました。島での限られた医療資源や、生活の中での困りごとを実際に見聞きすることで、将来医療職者として必要な視点を持つことや視野の広がり期待しています。



令和5年度
オープンキャンパス予定

7月1日(土) 8月1日(火) 9月16日(土)
10月7日(土) 11月25日(土)

お待ちしております
おられます!!



令和5年度 看護師特定行為研修開講式を行いました

4月14日に令和5年度看護師特定行為研修開講式を行い、受講生11名(郡山市内の医療機関勤務1名と法人職員10名)に受講許可証が授与されました。限られた人材の中でタイムリーな看護の提供が期待できる研修となっています。



受診の際のお願い

受診は診療時間内
お願いします

時間外診療は病院の体制整備が不十分であり、適切な医療提供が出来ない場合があります。診療時間内の診察にご協力をお願いいたします。



ホームページ

※診療時間等はホームページをご覧ください。



こども事業部News

令和5年度「子育て応援プログラム」好評開催中!!

今年度、さらにパワーアップした「子育て応援プログラム」の楽しい体験活動に、たくさんのご参加をいただいています。

4月には防災ヘリ見学、5月にはカワセミ水族館館内にいる生き物を観察し、その後は魚釣り！釣竿を持ちながら「釣れるかな？」とワクワクしたり、「釣れたー！」と大喜びしながら思いきり楽しみました。

今後も、楽しいイベントを予定しています。お楽しみに!!

※病院ホームページやチラシの年間スケジュールをご覧ください。



大町キッズベースの新企画!!

今年度から“まちのわプロジェクト”が始まりました。

大人も子どもも『わ』になって、『まち』を楽しむプロジェクトです。

第1回目は朝活。みんなで体を動かして、おいしい手作りの朝ごはんを食べました。



大町キッズベース公式Instagramを開設しました。是非、ご覧ください。



オレンジカフェ



健康体操

在宅事業部 news

キラリふれあい広場について



人生会議



笑って健康

キラリふれあい広場は、患者様が退院後の外出のきっかけとなったり、地域の方が健康となるための知識を得たり、生き活きとした生活を送るための情報提供などを目的に平成27年から始まりました。健康教室だけでなく、認知症疾患医療センターと連動した認知症予防やオレンジカフェ、地域の農家さんとのコラボレーションによる「あおぞら市」（現在休止中）、座って行う健康体操などを開催し、この3月まで319回、延べ7,180人の方が参加していただきました。

令和5年度からは週ごとにテーマを設け、参加者が計画的に学べるようにしました。具体的には第1週：趣味コース「日々の生活に気軽に取り入れられる情報提供」、第2週：認知症安心コース「認知症に関する情報提供」、第3週：健康増進コース「健康増進のための情報提供」、第4週：生活・地域コース「地域の方々の方々の生活に密着した情報提供」です。

参加するたびにスタンプが貯まるカードを発行しました。スタンプが貯まることを楽しみに、健康度もアップ! 「わかる・つながる・元気になる!」をコンセプトとしました。スタッフ一同お待ちしております!





所在地：〒963-0205 郡山市堤1-84
 TEL：024-962-7751
 HP：http://www.shimoji-naika.jp
 診療科：神経内科・内科
 診療時間：午前 9:00～13:00
 午後 14:30～18:00
 (受付は終了の30分前までに)
 休診日：日曜日・祝日・水曜日

5月のある月曜日、午前中の診療を終え束の間の休憩時間にお邪魔したにもかかわらず、穏やかな笑顔で、快く取材に応じていただきました。
 下地院長先生は、以前、星総合病院にて神経内科部長として勤務され、現在も救急指定日の診療にご協力いただいております。
 診察室にて当院の地域医療連携センター職員がお話を伺いました。



しもじ しんや
下地 眞哉 院長

●施設のご紹介をお願いします。

2012年9月に開院し11年目となります。神経内科と内科全般の診療を行っています。当院にはMRI検査装置があることで、より早く正確な診断がつけやすいです。

●大切にしていること・モットーは何ですか？

患者さんの権利を大事にし、患者さんに納得してもらえる医療を目指しています。

●星総合病院との連携についてはいかがですか？

紹介患者さんを受け入れてもらえて、専門医師の診療へと繋がっています。

●コロナ禍を経験し、これからについて思うことは？

コロナウイルスに感染した方がイギリスは全人口の8割なのに比べ日本は4割と低く、まだまだ日本の流行は続くと思われます。特に高齢者が罹患するのが心配です。
 コロナウイルス感染症の他にも、インフルエンザ等のウイルス感染症も流行してきたら困りますね。

●将来の夢は？

個人的には趣味でピアノを弾くので、メグレスホールのピアノ（スタインウェイ）を弾いてみたいと思っています。
 ※メグレスホール友の会に入会したいです。
 ※星総合病院併設のメグレスホールを利用した音楽イベントや健康・福祉に関する催しが入場無料となります。会費1,000円（2年間）の友の会会員様のご支援によりメグレスホールは運営されています。

大変お忙しい中、誠にありがとうございました。
 下地院長先生のピアノリサイタル開催を楽しみにしております♪



MRI検査装置の前で



スタッフのみなさんと



2025年オープン 大町新複合施設 進捗状況!!

令和5年3月に解体の工程がすべて終わり、4月には安全祈願祭を執り行いました。現在、着々と建設が進んでいます。また、施設内の詳しい内容やプログラムについても定期的にミーティングを開催しています。新しい施設が建っていく様子を見ていただきながら、未来の町の姿を想像していただけたら嬉しいです。

これから、建設の進捗状況も随時発信していきます。施設についてより詳しく知りたい方は、新施設の情報発信を担う「ほしくまわくわくベース」へ是非お越しください。

進捗状況



町内会の皆さんと

新施設の情報発信の役割も担う



レーザークラフト



海老根和紙工房見学



アルコールインクアート

イベント

ほしくまわくわくベースが開店して1年が経ちました。多くの方々にご来店いただき感謝しております。当店では引き続き、大町新複合施設の情報発信と、ものづくり工房の試験的運用に向けて様々なワークショップを開催していきます。また、大町商店街のイベント参加や、町の方々と作り上げるイベントを当法人の大町キッズベースと協力して企画しています。

当店では、革細工や木工細工、陶芸など本格的なもののづくりの体験ができるよう、地域の方々との繋がりがつ、ご協力いただける方も随時募集しています。

これからも多くの方が当店をご利用いただき、生活をより楽しんでいただけることを目標に頑張っていきます。

最新情報は
こちら



Instagram



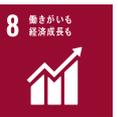
Facebook



公式LINE



持続可能な
開発目標
(SDGs)
詳細一覧



公益財団法人 星総合病院

●星総合病院

〒963-8501
郡山市向河原町159番1号

TEL 024-983-5511(代)

●星ヶ丘病院

〒963-0211
郡山市片平町字北三天7番地

TEL 024-952-6411(代)

●三春町立三春病院(指定管理)

〒963-7752
田村郡三春町字六升50番地

TEL 0247-62-3131(代)

●たむら市民病院(指定管理)

〒963-4312
田村市船引町船引字南町通111番地

TEL 0247-82-1117

●ほし横塚クリニック

〒963-8803
郡山市横塚2丁目20番36号

TEL 024-956-7778

●星訪問看護ステーション

〒963-8803
郡山市横塚2丁目20番36号

(ほし横塚クリニック内)

TEL 024-956-2322

●サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)

TEL 024-962-1711

●サテライトしずか

〒963-0209
郡山市御前南5丁目18番地

ウェストパークB棟102号

TEL 024-983-6410

●サテライト三春(三春病院内)

TEL 0247-73-8270

●星訪問看護ステーションたむら

(ほしくまあんしんベース内)

〒963-4312
田村市船引町船引字小沢川代89番地1

TEL 0247-73-8762

●介護老人保健施設オリオン

〒963-0211
郡山市片平町字蓬三天2番地

TEL 024-952-6413

●芳賀・小原田地域包括支援センター

〒963-8322
郡山市高柳2丁目17番2号

TEL 024-941-1121

●田村市ふねびき地域包括支援センター

(ほしくまあんしんベース内)

〒963-4312
田村市船引町船引字小沢川代89番地1

TEL 0247-73-8762

●星総合病院在宅介護支援センター

(ほし横塚クリニック内)

TEL 024-983-5515

●居宅介護支援事業所星ヶ丘

(星ヶ丘病院内)

TEL 024-952-6414

●養護老人ホーム三春町敬老園

(指定管理)

〒963-7752
田村郡三春町字六升50番地の1

TEL 0247-62-3618

●ボラリス保健看護学院

〒963-8801
郡山市向河原町159番7号

TEL 024-983-5010

●大町キッズベース

〒963-8001
郡山市大町2丁目3番26号

TEL 024-953-5401

●ほしくま児童家庭支援センター

〒963-8001
郡山市大町2丁目15番2号

ハート調剤ビル2F

TEL 024-983-8375

●ほしくまわくわくベース

〒963-8001
郡山市大町1丁目11番11号

上石ビル1階

TEL 090-2486-9556

●ほしくまあんしんベース船引

〒963-4312
田村市船引町船引字小沢川代89番地1

TEL 0247-73-8762

●ほしのご保育園

〒963-8501
郡山市向河原町159番1号

TEL 024-983-5519

●星ヶ丘保育園

〒963-0211
郡山市片平町字北三天7番地3

TEL 024-951-0788

●星の森保育園

〒963-4312
田村市船引町船引字屋頭清水285番地

TEL 0247-61-5581

●三春町第1保育所(指定管理)

〒963-7769
田村郡三春町担根1丁目4番地の1

TEL 0247-62-3839

●三春町第2保育所(指定管理)

〒963-7719
田村郡三春町字貝山字泉沢100番地の1

TEL 0247-62-2748

ご意見を
お聞かせ下さい

ホームページアドレス
http://www.hoshospital.jp

発行/公益財団法人星総合病院
発行日/令和5年7月

編集/法人広報部
住所/〒963-8501郡山市向河原町159番1号